ナンバリングコード B2LAC-bceG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050201） 広範教養教育科目 Liberal artscourse(comprehensive) 知プラe科目　大学の知の活用 Practical use of university's intellectual property	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bce	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 井内　健介	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】四国地域の大学、産学官連携、イノベーション、研究、知的財産

本講義では、大学の知の活用に必要な基礎知識を紹介した上で、四国地域における具体的な大学の知の活用に関する取り組みを紹介する。

授業の目的

大学の知の活用に必要な基礎知識及び四国地域の大学の知の活用に関する取り組みを知ることにより、その必要性や大学と地域との関わりを理解することを目的とする。

到達目標

１．大学の知の活用に必要な基礎知識を理解する。
２．四国地域の大学の知の活用に関する取り組みを理解する。
３．大学の知の活用の必要性を実感する。
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」「地域に関する関心と理解力」に対応）

成績評価の方法と基準

本授業はe-ラーニング形態です。各回で出題する小課題（１００％）で成績評価をおこないます。ただし、各回の小課題提出回数が全体の２／３に満たない場合は成績を判定しません。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

1.井内健介准教授 ・ 徳島大学 「大学の知の活用の全体像」
2.秋丸國廣准教授 ・ 愛媛大学 「大学の知の活用に必要な基礎知識①」
3.恒川典之特任教授 ・ 高知大学 「大学の知の活用に必要な基礎知識②」
4.中川勝吾教授 ・ 愛媛大学 「大学の知の活用に必要な基礎知識③」
5.秋丸國廣准教授 ・ 愛媛大学 「大学の産業連携における地域貢献」
6.石塚悟史教授 ・ 高知大学 「大学の地域貢献」
7.辻本知敬知的財産主席研究員 ・ 徳島大学 「四国地域における大学の知の活用に関する取組①」
8.辻本知敬知的財産主席研究員 ・ 徳島大学 「四国地域における大学の知の活用に関する取組②」
9.永冨太一准教授 ・ 香川大学 「文系領域の産学連携プロジェクト」
10.永冨太一准教授 ・ 香川大学 「コンソーシアムからの産学連携プロジェクト」
11.石塚悟史教授 ・ 高知大学 「一次産業分野における産学連携」
12.秋丸國廣准教授 ・ 愛媛大学 「愛媛大学における産学連携事例」
13.松下一郎客員教授 ・ 徳島大学 「青色ＬＥＤにおける大学の基礎研究の活用」
14.久保田邦昭客員教授 ・ 徳島大学 「バイオ・医薬分野の知的財産制度と産学連携①」
15.久保田邦昭客員教授・ 徳島大学 「バイオ・医薬分野の知的財産制度と産学連携②」

【授業時間外学習について】
講義後に関連する事項について復習する。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　物理的に徳島大学への訪問は困難だと推測されますので、問い合わせはメールにて
徳島大学　研究支援・産学官連携センター　井内准教授
inai.kensuke(a)tokushima-u.ac.jp　※(a) → @

香川大学　社会連携・知的財産センター　永冨准教授
nagatomi.taichi(a)kagawa-u.ac.jp　※(a) → @

高知大学　次世代地域創造センター　地域イノベーション部門　恒川特任教授
kt05(a)kochi-u.ac.jp　※(a) → @

愛媛大学　社会連携推進機構　秋丸准教授
akimaru.kunihiro.mu(a)ehime-u.ac.jp　※(a) → @

鳴門教育大学　知的財産室　宮本准教授
Kmiyamot(a)naruto-u.ac.jp　※(a) → @

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業はe-ラーニングの形態でおこないます。基本的に、授業の進行は、皆さんの自主性に任せられます。皆さんは、計画的に学習を進めるよう注意してください（e-ラーニング形態は自由度が高い反面，多くの学生が、途中でリタイアしてしまうことが分かっています）。高度な自律性が求められることを理解した上で、本科目を履修するようにしてください。

教員の実務経験との関連

民間企業、技術移転機関、政府系機関等において、知的財産の活用に関する実務経験を有する講師が、大学の知を活用するために実務上、必要な基礎知識を紹介した上で、四国地域における具体的な大学の知の活用に関する取り組みを、実例を交えて講義する。

ナンバリングコード B2LAC-bcxG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050202） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 行動統計学入門 Introduction to Behavioral Statistics	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割 2022年度** 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bcx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 金西 計英	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】データの整理、記述統計、推測統計、統計的仮説検定、確率的判断

社会科学や行動科学を学ぶ際、目的をもって集められたデータを整理し、その中に存在する情報を記述統計、推測統計の手法を用いて分析、理解することが必要となる。この授業では、文系の学生にも重要な統計学の基本的な手法を具体的な演習課題をエクセルで解きながら学習する。

授業の目的

調査や実験を通じて収集したデータを整理し、その分析手法および結果解釈法の基本を学ぶ。また、手軽に利用できる道具としてエクセルを利用しデータ分析に必要な手順を体得する。

到達目標

エクセルの基本的な機能を利用して、与えられたデータの整理、および分析ができる
データの整理、分析を行う際、そのデータの種類に合わせた方法を選択し、正確に行うことができる
正確に記述統計量と検定統計量を計算し、その解釈を行うことができる
データの種類と統計分析の目的に合わせて仮説検定を行い、その結果を確率的に判断することができる
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

各回（01～14）の課題の提出状況（42%）と期末試験レポート（58%）で行ないます。各回の課題は、それぞれ次の評価（７５%以上の正解＝３点、５０～７５%の正解＝２点、２５～５０%の正解＝１点、２５%未満＝０点）を受けることになる。提出回数が少ない場合は、課題の合計得点が少なくなるので注意してください。１０回分以上の課題が提出された後で、期末試験レポートの提出資格が生じます。期末試験レポートは、第１５回の授業を受講後に取り組み、不正行為がないことの宣誓書（別様式あり）への記名等とともに提出があった場合にのみ採点されます。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

０１．オリエンテーション、統計学の用途とエクセルの利用
０２．データの記述：整理法、表示法、図示法
０３．データの理解、代表値、散布度
０４．データの分布と変換
０５．データの集計：単純集計、クロス集計
０６．データの関連、相関
０７．記述統計から推測統計へ 確率分布の利用（１）
０８．推定と検定 確率分布の利用（２）
０９．統計的検定の手順
１０．ｔ 検定の利用
１１．U検定、T検定の利用
１２．カイ２乗検定の利用
１３．相関係数の利用
１４．ファイ係数の利用
１５．統計手法適用の問題点と留意点

【授業時間外学習について】
授業の内容を補完する練習問題（提出必要なし）、および課題（提出必要、最終成績の一部となる）を解き、学んだことを定着させてください。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等
参考書1　書名　本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 ＩＳＢＮ　978-4-7628-2125-7 著者名 吉田 寿夫 出版社　北大路書房　出版年　2006年 金額　2500円＋税
オフィスアワー　　問い合わせは、下記の電子メールにてお願いします e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp　※(a)→@
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
この授業は、エクセルについて学ぶための授業ではなく、エクセルを使って学ぶ授業です。そのため、エクセル未経験者の履修はご遠慮ください。履修希望学生は、グラフ作成や数値計算などのエクセルの基本的な操作をすでに習得していることが求められます。授業内容に関係した統計や数学等に関わるエクセル関数については、授業の進展に合わせながら紹介していきます。 参考資料として記述統計用の基本公式集，および推測統計用の基本公式集を配付します。十分に活用してください。

ナンバリングコード B2LAC-bdxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050203） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　自動車概論 Introduction to Automobile Engineering and Society	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bdx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 宮下　晃一	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】(1)自動車，(2)技術，(3)社会
自動車社会の一員として責任をもって自動車と関わっていく上で知っておくべき自動車の社会的な役割と弊害，構造と技術，日常点検と整備の方法，万一の事故対応や保険制度について，幅広く解説する。

授業の目的

公共交通機関があまり発達していない上に過疎化や高齢化が進む四国地方では，これからも自動車を上手に活用していく必要がある。環境やエネルギーの世界的な動向と地域社会における必要性を理解しながら，適切に自動車を利用できる，将来の自動車社会の担い手を育成する。

到達目標

自動車の社会的な役割と弊害，構造と技術，最近の技術動向，日常点検と整備の方法，万一の事故対応や保険制度等を正しく理解する。
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「市民としての責任感と倫理観」に対応）

成績評価の方法と基準

授業毎に課される課題の提出状況と内容により評価する。

注1：指定された期日を過ぎて課題を提出した場合，提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。
注2：課題にはすべて解答すること。解答されていない箇所がある場合，当該箇所は採点の対象外となる。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第1回 自動車社会の功罪
第2回 自動車の構造（エンジン）
第3回 自動車の構造（クラッチ，変速機）
第4回 自動車の構造（ステアリング，ブレーキ）
第5回 自動車の構造（差動歯車，サスペンション，タイヤ）
第6回 最近の技術動向と自動車社会の行方
第7回 日常の点検・整備
第8回 ドライバーの責任と義務

【授業時間外学習について】
授業で学んだ内容について，さらに詳しく資料を調べ，自分や家族の自動車を使って実践しながら，学習していただきたい。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

参考書1　書名　ダイナミック図解 自動車のしくみパーフェクト事典
ＩＳＢＮ　4816355022　著者名　古川 修　出版社　ナツメ社　出版年　2013
参考書2　書名　損をしないためのポイントがわかる 交通事故に遭ったら読む本
ＩＳＢＮ　4534052138　著者名　ベリーベスト法律事務所　出版社　日本実業出版社　出版年　2014
参考書3　書名　モビリティー革命2030 自動車産業の破壊と創造
ＩＳＢＮ　4822237273　著者名　デロイト トーマツ　出版社　日経BP社　出版年　2016

オフィスアワー　オフィスアワー：特に設けない。電子メール（miyasita@naruto-u.ac.jp）で問い合わせること。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業毎に課される課題は受講期間（開講時に通知する）内に提出すること。

ナンバリングコード B2LAC-bdcG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050204） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　大学生のための『安全・安心』の基礎講座 Basic lecture of "Security & Relief" for university students	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bdc	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 伊藤　和貴	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】感染症、ヒューマンファクター、リスクホメオスタシス、リスクマネジメント、法令順守
安心とはどういう状態であろうか。少し深く考えると安心できる要素は人によって異なることが判る。この講義では、全ての人が安心して暮らせるために、その根本となる安全と健康について、個人としてできることや組織として管理する時の注意などについて、全15回を通して基礎的な知識を習得することを目標とする。

授業の目的

充実した大学生活を送るために重要な、安心・安全な生活とは何か、安心な暮らし・身近な危険・安全とリスクについて考え、実生活の中で危機に対応していくための基本知識を習得する。

到達目標

安全な暮らしに関する説明ができる
身近な危険や有害物等について説明ができる
安全とリスクについて、具体的な防止策について挙げることができる
(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「市民としての責任感と倫理観」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)

成績評価の方法と基準

課題は全て実施する事。１回でも実施していない場合には、不可あるいは０点の評価とする。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1回：安心に暮らすためにできること、山本　仁（大阪大学）
第2回：身近にある危険・有害物（I）、辻　佳子（東京大学）
第3回：身近にある危険（感染症）（II）、三浦　竜一（東京大学）
第4回：人体への影響、大久保靖司（東京大学）
第5回：安全とリスクについて、土橋　律（東京大学）
第6回：ヒューマンエラーを防ごう、中尾　政之（東京大学）
第7回：個人にできること（I）倫理・不正防止、片倉 啓雄（関西大学）
第8回：個人にできること（II）危険感受性、大島　義人（東京大学）
第9回：組織としての対応（I）CSR、石田　英之（大阪大学）
第10回：組織としての対応（II）安全管理、錦見　端（名古屋大学）
第11回：組織としての対応（III）リスクアセスメント、山本　仁（大阪大学）
第12回：組織としての対応（IV）健康管理、黒澤　一（東北大学）
第13回：コンプライアンス、村田　静昭（名古屋大学）
第14回：危機に際してどう行動するか、梅田　幸治（大阪大学）
第15回：リスク管理と危機管理、梅田　幸治（大阪大学）

本e-Learningコンテンツは、大学生のための『安全・安心』の基礎講座（一般社団法人　国立大学協会 http://www.janu.jp/）の資料を用いて制作しています。

【授業時間外学習について】
授業内容と併せて自分の生活について確認し、危険やリスク等がないかを考え、大きなトラブルに巻き込まれないような危機管理について考えるようにしてください。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画に字幕あり。動画の音声を文字おこししたテキスト資料（PDF）あり。

教科書・参考書等 特になし
オフィスアワー　Moodleのフォーラムを利用する。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、課題提出）を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。

ナンバリングコード B2LAC-ebcG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050205） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　徳島で暮らす・徳島で働くを考える Challenge of "life in Tokushima, work in Tokushima"	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 前期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教センター **ＤＰコード**：ebc	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 金西　計英	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】徳島県 将来ビジョン やりがい 暮らし

徳島県内の第一線で活躍するリーダーや県内高等教育機関のＯＢ・ＯＧを講師に迎えて、経験の中から生まれた確信や考え方を語ってもらい、みなさんに自らのキャリア形成や地域社会との共生について、これからの持続可能世界を生きる意味について主体的に考えてもらう。

授業の目的

徳島県の産業面から見た将来ビジョンと地元で働くやりがいや暮らしの楽しさ、メリットなどについて、地域の識者から学び、考えることで、将来の就職先としての徳島県の魅力について理解を深める。

到達目標

①徳島の地域文化を理解し、徳島における暮らしの魅力を説明することができる
②徳島の成長力がある産業を理解し、大学での自分の学びとつなげて考えることができる
（共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

各回講義の終わりに作成する小レポート（10点×7回）と最終レポート（30点）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第1回：徳島県の将来ビジョン（徳島県知事）
第2回：徳島の地域づくりと観光産業
第3回：徳島の地域医療と福祉の仕事
第4回：徳島の次世代技術関連産業の展望
第5回：徳島の６次産業化の取り組みと農林水産業の展望
第6回：徳島のICTと地域産業
第7回：徳島県の山海エリアで働く（パネルディスカッション）
第8回：徳島県の強みと成長産業+総括

【授業時間外学習について】
参考図書として「徳島を好きになる本-文化と経済でみる「徳島」」（徳島経済研究所）を推薦します。市販品ではありませんが、大学図書館などで参照できます。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

参考図書　書名　徳島を好きになる本-文化と経済でみる「徳島」」
出版社　徳島経済研究所
（市販品ではないので、大学図書館などで参照のこと）

オフィスアワー　問い合わせは、下記の電子メールにてお願いします。
e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp　※(a)→@

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

各ビデオ講義を視聴し徳島県の魅力について理解を深めた上で、徳島県の魅力について友達や知人等と話し合ってみて下さい。

ナンバリングコード B2LAC-bcxG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050206） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　数理科学の世界 Invitation to Mathematics	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bcx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 金西　計英	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】正多面体，対称性，小説，美術，歴史，パズル，初等数学

講義は一回ごとにテーマを決めて、原則一回完結になります．内容としては、数学の歴史、古代から近代文明に見ることの出来る数学の様相（西洋だけでなく江戸時代や中国の数学を含む）、美術で使われる数学理論、数学を取り扱った文学、音楽理論に現れる数学の理論、数学者の人間像（古代から現代まで）、占星術で使われる数学などで、レベル的には高校数学の内容で充分理解できるものです．

授業の目的

高校までの数学では，「与えられた問題に公式を当てはめて答えを出す」ことの繰り返しだったかも知れませんが，「数学する」ことの本質は，そんな限定的な物ではなくて，世の中の色々な場所に見ることができます．この講義では，様々な場面に於いて数学が現れてくる瞬間を観察する事で，受講者の数学に対するイメージをもっと広い物にしてもらうことを目的とします．こう言った広い意味での「数学する」ことの本質を知ることは人間社会の文化，科学，技術を支える人間の知的活動を体感することにもつながるものと考えます．

到達目標

・数学的概念や「数学する」ことを実感する．
・数学が嫌いでなくなる．
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

本科目に関しまして以下の基準で評価をさせて頂きます。
1:毎回の資料及び動画は必ずMoodleにアクセスの上ご確認ください。全資料を確認して、「感想」を記入頂けますと一回の出席になります。一回の出席は1点に評価します。なお、「感想」の提出回数が10回未満の場合は、著しい減点を加えることがあります。
2:毎回30問の○×で答える小問が用意されています。15回の講義ですので合計で450題になります。期末試験にて各受講者へ、その450題の中から各回の問題よりランダムに6題選択され合計90題をweb上で出題しますのでweb上で解答してもらいます。
3:講義16回目が期末試験になります。通常の講義の時間に解答してもらいますので解答時間は90分になります。尚ランダムに問題を選択しますので、期末試験で選択される問題は受講者ごとに異なります。
正解の場合は1問1.5点で評価させて頂きます(不正解は0点)
4:上記1:と3:の合計点を100点換算した得点(但し小数点以下は四捨五入）が最終得点になります。つまり
((出席の点数＋期末試験の点数)/150)×100の小数点以下四捨五入
が最終得点です。この得点で評価します。
5:毎回用意される30題は自主学習として講義終了後に何回も解答が可能です。ただし、この自主学習の解答結果は評価には加えません。授業計画は修正になることがあります。詳細は授業支援システム（Moodle）にあげます。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

１．古代バビロニアの数学と古代エジプトの数学
２．最初の女性数学者とアラビアの数学
３．音楽と数学
４．絵画の中の数学
５．ケプラーの宇宙観
６．ルイス・キャロル
７．ピュタゴラス
８．悪魔とサイモン・フラッグ
９．墨攻
10．和算と算額
11．数学史のなかの女性
12．対数の発見と計算の道具
13．ゲームの数学
14．スナーク狩り
15．イミテーションゲーム

16. 期末試験

教科書は使いません。毎回資料を提示します。講義は原則一回完結を目指しています。
毎回の授業では、ビデオや資料の視聴と小テスト（30問程度の問題群から10問程度をランダムに出題）があります。

【授業時間外学習について】
適宜、参考資料を提示します。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
日本語字幕付き

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　電子メールを利用してください。
e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp　※(a)→@

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第1回目から第15回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS（Learning Management System）にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となります。受講方法の詳細については、LMS内のガイダンスを参照してください。

ナンバリングコード B2LAC-edxG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050207） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　子どもと学校 Children and School	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：edx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 竹口　幸志	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】(1)学び，(2)教育，(3)子ども，(4)学校，(5)地域

時代とともに子どもを取り巻く社会環境は変化してきました。本講義では，子どもの遊び，子ども同士のかかわり，子どもと親のかかわり，子どもと教師のかかわり，子どもと学校のかかわり，地域のかかわりなどを取り上げ，これからの教育と教育へのかかわり方について考えます。

授業の目的

子どもの発達，子どもの社会化，学制と学校設置の歴史的変遷，社会における学校機能，地域と学校のかかわりを理解することにより，親として，教員として，地域の参加者として，今後の教育を考える主体的な態度を身につけます。

到達目標

1.子どもの発達，子どもの社会化，学制と学校設置の歴史的変遷，学校機能，地域と学校のかかわりについて理解している。
2.教育にかかわるうえで，主体的な態度が身についている。
（共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」「市民としての責任感と倫理観」に対応）

成績評価の方法と基準

成績評価の方法：レポート，討論，試験 等
成績評価の時期：受講期間終了後，成績処理を行う
成績評価の観点：レポート（客観性，批判的思考，新規性，妥当性，論理的思考，文章表現力），
討論（学びあい，助け合い），試験（学習到達度，主体的問題解決力等）
成績評価の基準：レポート（40%），討論(30%)，試験(30%)

注1：指定された期日を過ぎて課題（レポート，討論，試験を含む）を提出した場合，提出された課題は採点の対象外（加点しない）となります。必ず期日内に提出してください。
注2：レポート，討論，試験等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合，当該箇所は採点の対象外（加点しない）となります。
注3：質疑や学習のフィードバック：適宜行いますが，内容に応じて回答に時間を要する場合もあります。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第1回　オリエンテーション
第2回　学校の歴史 -西洋の学校-
第3回　学校の歴史 -日本の学校-
第4回　学校の機能と特性
第5回　徳島の教育史 1
第6回　徳島の教育史 2
第7回　子どもの発達について
第8回　子どもという存在について
第9回　家族の中の子ども
第10回　子どもの集団
第11回　子どもと学校の出会い
第12回　学校臨床
第13回　社会の中の学校
第14回　問題の再定義と対応策の検討
第15回　まとめ

【授業時間外学習について】
学習習慣の定着と学習理解の促進のため，予習と復習を勧めます。

【受講の条件】
e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので，操作に不安がある場合は，所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。

なお，本講義は大学に設置される学生用のコンピュータルームでの受講を担保しています。家庭用パソコン，スマートフォン，タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合，不具合が生じる場合があります。

【受講期間】
教務または学習管理システム（Moodle）を通して通達します。受講期間を充分に確認して受講してください。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料(PDF)あり

教科書・参考書等

教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。

オフィスアワー　・特に設けない。電子メール（ktakeguchi@naruto-u.ac.jp）で問い合わせること。
・教務に関する質問事項は，所属大学の教務に問い合わせてください。
・技術的トラブルは，所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

【受講の辞退について】
受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学 教務で手続きしてください。手続きが行われない場合，受講者として捉え，受講督促を行う場合があります。

【禁止事項について】
なりすましによる受講と受験，レポート盗用，コンピュータ内への動画の保存・蓄積，インターネット上への無断配信・共有，掲示板における教職員，学生への誹謗中傷 等。これらの不正行為が発見された場合，大学の規定に基づき厳正に対処します。

ナンバリングコード B2LAC-bacG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050208） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　情報社会のくらし Living in Information Society	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割 2022年度** 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bac	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 竹口　幸志	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】(1)情報政策，(2)情報経済，(3)情報と法，(4)情報教育，(5)情報と倫理

本講義では，情報政策，情報経済，情報と法，情報教育，情報と倫理の観点から情報社会のくらしについて考察します。日々刻々と変化する社会において，情報技術が及ぼす影響やこれからの情報との付き合い方について考えてみましょう。

授業の目的

情報技術発展の歴史的変遷等に触れながら，情報化の概念を理解し，情報社会において情報の取捨選択と主体的な活動ができる態度を養います。

到達目標

1.情報化の概念を理解している。
2.情報技術の発展の歴史を理解している。
3.情報技術が及ぼす影響について考えることができる。
4.情報社会を生きる上で規範意識をもち，主体的に行動することができる。
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「課題解決のための汎用的スキル」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

成績評価の方法：レポート，討論，試験 等。
成績評価の時期：受講期間終了後，成績処理を行う。
成績評価の観点：レポート（客観性，批判的思考，新規性，妥当性，論理的思考，文章表現力），討論（学びあい，助け合い），試験（学習到達度，主体的問題解決力等）。
成績評価の基準：レポート（40%），討論(30%)，試験(30%)

注1：指定された期日を過ぎて課題（レポート，討論，試験を含む）を提出した場合，
提出された課題は採点の対象外（加点しない）となります。必ず期日内に提出してください。
注2：レポート，討論，試験等の課題にはすべて解答してください。
解答されていない箇所がある場合，当該箇所は採点の対象外（加点しない）となります。
注3：質疑や学習のフィードバックは適宜行うが，内容に応じて回答に時間を要する場合もあります。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第１回　オリエンテーション
第２回　情報社会とは
第３回　情報技術の発達と動向
第４回　情報産業の発達と動向
第５回　情報社会における組織の変容
第６回　情報化による文化の変容
第７回　情報化が人間に及ぼす影響
第８回　情報と教育
第９回　知的財産権の保護と知的財産政策
第10回　著作権の保護制度
第11回　個人情報の保護とライフログビジネス
第12回　セキュリティとサイバー犯罪
第13回　法的責任，信頼性と安全性の問題
第14回　情報と倫理
第15回　まとめ

【授業時間外学習について】
学習習慣の定着と学習理解の促進のため，予習と復習を勧めます。

【受講の条件】
e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので，

操作に不安がある場合は，所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。
なお，本講義は大学に設置される学生用のコンピュータルームでの受講を担保しています。家庭用パソコン，スマートフォン，タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合，不具合が生じる場合があります。

【受講期間について】
教務または学習管理システム（Moodle）を通して通達します。受講期間を充分に確認して受講してください。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応】
動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料(PDF)あり。

教科書・参考書等

教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。

オフィスアワー　・特に設けない。電子メール（ktakeguchi@naruto-u.ac.jp）で問い合わせること。
・教務に関する質問事項は，所属大学の教務に問い合わせてください。
・技術的トラブルは，所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

【受講の辞退について】
受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学 教務で手続きしてください。手続きが行われない場合，受講者として捉え，受講督促を行う場合があります。

【禁止事項について】
なりすましによる受講と受験，レポート盗用，コンピュータ内への動画の保存・蓄積，インターネット上への無断配信・共有，掲示板における教職員，学生への誹謗中傷 等。これらの不正行為が発見された場合，大学の規定に基づき厳正に対処します。

ナンバリングコード B2LAC-bcxG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050209) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 デジタルものづくり入門 Introduction to Digital Fabrication	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 前期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bcx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 宮下 晃一	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】(1)ものづくり, (2)デジタル, (3)3Dプリンタ, (4)3D-CAD, (5)設計

3Dプリンタを使うと，誰でもが簡単にものづくりできる。3Dプリンタだけでなく，現在では様々な工作機械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき，ダウンロードでき，コピーでき，自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でもが自分の発想するものを3Dプリンタで作ることができ，必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。このようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに，3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。

授業の目的

3Dプリンタやレーザーカッターなど，デジタル技術を使ったものづくりの手法について概要を学び，3D-CADを用いた簡単な設計法を体験するとともに，情報化の進展に伴う今後のものつくりの可能性を展望する。

到達目標

3D プリンタやレーザーカッターを使ったものつくりの方法を理解する。
3D-CAD を使って，各自が製作したい物の設計データを制作する。
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

授業毎に課される課題の提出状況と内容により評価する。

注1：指定された期日を過ぎて課題を提出した場合，提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。
注2：課題にはすべて解答すること。解答されていない箇所がある場合，当該箇所は採点の対象外となる。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第1回 授業の進め方。デジタルものづくりの概要。
第2回 3D-CAD演習・1
第3回 3D-CAD演習・2
第4回 3D-CAD演習・3
第5回 3D-CAD演習・4
第6回 3D-CAD演習・5
第7回 3D-CAD演習・6
第8回 課題製作

【授業時間外学習について】
各自で3D-CADを使った演習を行って提出する課題がある。CADソフト(Fusion 360)を演習で使うので，各自のPCにインストールすること。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画の音声を文字起こししたテキスト資料あり

教科書・参考書等

参考書1 書名 MAKERS 21世紀の産業革命が始まる
ＩＳＢＮ 4140815760 著者名 クリス・アンダーソン

出版社　NHK出版　出版年　2012年
金額　2,090円

参考書2　書名　基礎からのFreeCAD
ＩＳＢＮ　4777519317　著者名　坪田 遼
出版社　工学社　出版年　2016年
金額　2,640円

オフィスアワー　　オフィスアワー：特に設けない。電子メール（miyasita@naruto-u.ac.jp）で問い合わせること。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業毎に課される課題は受講期間（開講時に通知する）内に提出すること。

【パソコン必要度】
必要。CADソフト(Fusion 360)を演習で使うので，各自のPCにインストールすること。
※Fusion360の動作環境について
＜Windowsの場合＞OS：windows 7 SP1 か windows 8、windows 8.1、windows10。CPU：64bitのプロセッサー（32bitはサポート外）。メモリー：3GB（4GB推奨）。ネット回線：ADSLかそれ以上。HDDの空き容量：2GB以上。グラフィック：512MB GDDR RAM（数年前のPCでも余裕でクリアできると思われる）。ポインティングディバイス：マウス。
＜Macの場合＞OS：Apple® macOS™ Mojave v10.14;Apple® macOS™ High Sierra v10.13; Apple® macOS™ Sierra v10.12。その他の項目はWindowsと同じ
大学によっては学生用PCで使える場合がある。

ナンバリングコード B2LAC-axxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050210） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　アカデミック・プレゼンテーション（PowerPoint編） Academic Presentation （Using PowerPoint）	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 仲道　雅輝	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】プレゼンテーション、研究成果報告、Microsoft Office PowerPoint

「伝わるプレゼンテーション」をすることで、分かりやすく効果的な研究発表を行うことができるようになることを目指します。本授業では、プレゼンテーションソフトMicrosoft Office PowerPointを用いて、「伝わるプレゼンテーション」を行うために、スライド修正の実践演習を交えながら必要な技術を修得します。

授業の目的

PowerPointを用いて効果的な研究発表を行うために、伝わりやすいプレゼンテーションの方法を身に付ける。

到達目標

（１）プレゼンテーションソフト Microsoft Office PowerPoint の基本操作ができる。
（２）スライドの構成やデザインの改善点を指摘し、修正できる。
（３）研究発表用プレゼンテーションが PowerPoint で作成できる。
（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）

成績評価の方法と基準

すべての課題の提出がない場合には評価しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
①よいプレゼンテーションの効果
②伝わるプレゼンテーションとは
③３つの技術（コントラスト・グルーピング・イラストレーション）
④スライドデザインの基本
⑤伝わるスライドデザイン７つのコツ
⑥実践演習「スライドデザインの修正」
⑦パワーポイントの便利技
⑧まとめ

【授業時間外学習について】
「スライドの修正」実践演習では、実際に、スライドを修正する作業を行っていただきます。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画に字幕あり。動画の音声を文字おこししたテキスト資料（PDF）あり。

教科書・参考書等

参考書1　書名　学生・研究者のための使える！PowerPointスライドデザイン　伝わるプレゼン１つの原理と３つの技術
ＩＳＢＮ　978-4759811759　著者名　宮野公樹　出版社　化学同人　出版年　2009　金額　￥1,980

参考書2　書名　プレゼン力がみにつくPowerPoint講座
ＩＳＢＮ　978-4798122595　著者名　天野暢子　出版社　翔泳社　出版年　2010　金額　￥1,870

オフィスアワー　Moodleのフォーラムを利用する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、課題提出）を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。

ナンバリングコード B2LAC-bcxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050211） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　私たちの生活と材料 Materials in our daily life	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教センター **ＤＰコード**：bcx	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 小林　千悟	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】材料、機能、資源、環境、循環型社会

私たちの生活の中で利用されている様々な機能を持った材料について紹介します。それら材料の開発の経緯や要求される特性をいかに引き出すかなどについて説明します。また、資源・環境・エネルギーの点で循環型社会を構築するために不可欠な機能材料についても解説します。何気なく使っている製品にも様々な機能を持った材料が活用されていることを知ってもらいたいと思います。

授業の目的

材料は現代社会を支える大地のようなものであり、新材料の出現は新しい時代を常に切り拓いてきた。従って、工学の基礎として材料の基礎を理解することは非常に重要といえる。本講義から様々な特性を持つ材料がどのような所で使われおり、それがいかにして開発されてきたかを理解できる。

到達目標

材料の基本である物質の構造・性質および材料の機能を理解するとともに，材料のプロセッシング技術の基礎を理解する。そして，社会が必要としている材料の利用とその設計の基本が理解できるようになる。
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

すべての課題の提出がない場合には評価しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
①様々な機能を持った材料をどのように作るか？（小林）
②無機機能材料の応用（青野）
③半導体と有機材料（井堀）
④磁石の世界（山室）
⑤非晶質材料（斎藤）
⑥身の回りの金属材料とその塑性変形挙動（水口）
⑦鉱物資源の利用とエネルギー（佐々木）
⑧熱電変換材料（松本）

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画に字幕あり。動画の音声を文字おこししたテキスト資料（PDF）あり。

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　Moodleのフォーラムを利用する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、課題提出）を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。

ナンバリングコード B2LAC-bcxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050212） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　和算の世界 Introduction to Wasan	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bcx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 河村　泰之	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】数学史、和算、算額

和算とは西洋の数学が入ってくるまでの日本の数学、特に江戸時代に普及・発展した日本の数学のことをいいます。当時は、和算を楽しむ人が数学の問題を算額とよばれる絵馬にして神社・仏閣に奉納する習慣がありました。愛媛県にも多数の算額が残されています。この授業では和算に関して、その歴史、計算の道具、図形公式、算額に記された図形問題などを学びます。

授業の目的

学校教育では明治以後に西洋から導入された数学を学習しているため、江戸時代に発展した和算について知ることは少ない。和算に触れることで日本独自の数学文化を理解する。

到達目標

日本の数学の歴史を理解する。江戸時代の計算の道具や算額について説明できる。
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

すべての課題の提出がない場合には評価しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
①和算とは（平田）
②和算の歴史（平田）
③油わけ算／ひろいもの（平田）
④算木を使ってみよう１（河村）
⑤算木を使ってみよう２（河村）
⑥関孝和（平田）
⑦和算の図形公式（平田）
⑧算額の問題（平田）

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画に字幕あり。動画の音声を文字おこししたテキスト資料（PDF）あり。

教科書・参考書等

教科書1　書名　円周率の謎を追う 江戸の天才数学者・関孝和の挑戦
ＩＳＢＮ　978-4774325521　著者名　鳴海 風
出版社　くもん出版　出版年　2016
金額　1,650円

オフィスアワー　Moodleのフォーラムを利用する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、課題提出）を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。

ナンバリングコード B2LAC-dbxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050213） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　研究倫理 Introduction to Research Ethics for Young Students	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教センター **ＤＰコード**：dbx	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 裏　和宏	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】科学研究、倫理、研究上の不正行為、科学の社会的信頼性

卒業論文作成や将来研究者・科学者になる人だけでなく、科学技術を利用して生活する私たちが持っていなければならない倫理観とは何かについて考え学ぶ。我々の生活は、科学技術の成果の上に成り立っており、科学技術が社会に及ぼす影響は計り知れないほど大きい。科学技術の健全の発展のために必要な心得についても触れる。

授業の目的

研究に関わる倫理的諸問題の全体像を把握し、具体的なトピックに即して、研究に従事する者として踏まえておくべき倫理原則と規範を習得する。

到達目標

自由かつ独創的で、質の高い科学研究は、人間生活や社会との関係を視野に収めた研究倫理に裏づけられたものでなければなりません。研究者あるいは高等教育を受けた教養人が身に着けていなければならない基本的倫理観を整理して確認する講義です。科学研究における責任ある行動がとれるようになり、誠実さ、正確さ、効率性、客観性といった基本的な価値を尊重することができるようになることが本講義の目的です。
（共通教育スタンダードの「市民としての責任感と倫理観」「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）

成績評価の方法と基準

すべての課題の提出がない場合には評価しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
①責任ある研究活動とは
②研究計画を立てる
③研究を進める
④研究成果を発表する
⑤共同研究をどう進めるか
⑥研究費を適切に使用する
⑦科学研究の質の向上に寄与するために
⑧社会の発展のために

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画に音声字幕あり。動画の音声を文字おこししたテキスト資料（PDF）あり。英語版資料あり。

教科書・参考書等

【参照ホームページ】
（教科書のダウンロード）科学の健全な発展のためにー誠実な科学者の心得ー
https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf

日本学術振興会（研究倫理教育）ホームページ
https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html

オフィスアワー　Moodleのフォーラムを利用する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修（コンテンツ視聴、課題提出）を心がけてください。主体的・計画的に取り組まなければ、単位を落とすことにつながるので注意してください。

ナンバリングコード B2LAC-bacG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050214) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 インタフェースデザイン概論 Introduction to Interface Design	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bac	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 三好 康夫	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】ヒューマンインタフェース，入力デバイス，インタラクションデザイン，情報デザイン

本授業では，ヒューマンインタフェースの概念や人間の特性，情報システムの使いやすさ等について概説し，主にソフトウェアのユーザインタフェース設計手法について言及する。情報システム等の使いやすさの論理的な評価方法や，使いやすさを意識したGUI設計の考え方を学ぶ。

授業の目的

・ヒューマンインタフェースの概念を学び，情報システムの使いやすさについて考える。
・Webデザインやスマートフォン・タブレットアプリ開発の手法や，情報デザインとインタラクションデザインの考え方を学ぶ。

到達目標

(1) 情報システム等の使いやすさを論理的に評価することができる
(2) 使いやすさを意識した GUI 設計の考え方を説明できる
(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「課題解決のための汎用的スキル」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)

成績評価の方法と基準

各回の小テストを計35点満点，各回のレポートを計35点満点，期末レポートを30点満点で評価し，合計60点以上を合格とする。ただし，各回（1～7回）の小テストとレポートを全て提出しなければ，期末レポートは提出できないので注意すること。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
※授業内容は変更になる可能性があります。
1.ガイダンス，ヒューマンインタフェースとは
2.Webやモバイル端末におけるヒューマンインタフェース
3.コミュニケーション支援，インタラクションのデザイン
4.情報のデザイン，サイト設計，ユーザビリティ評価
5.人間の情報処理モデル，ヒューマンエラー，人間サイドからの設計
6.情報入力系，情報出力系，インタラクションの拡張
7.ユーザのアシスト，ユニバーサルデザイン，今後のヒューマンインタフェース
8.ペーパープロトタイピング，期末レポート

【授業時間外学習について】
e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて，各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
授業動画は全て字幕付き

教科書・参考書等

教科書1 書名 イラストで学ぶヒューマンインタフェース 改訂第２版
ＩＳＢＮ 978-4-06-516143-2 著者名 北原義典
出版社 講談社 出版年 2019
金額 2,600円+税

オフィスアワー 電子メール（miyoshi+el@is.kochi-u.ac.jp）を利用してください

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第1回目から第8回目までの受講はすべて，インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS（Learning Management System）にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は，話のポイントをノートに書き取るなど，主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については，第1回（ガイダンス）を参照されたい。

ナンバリングコード B2LAC-axxG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050215) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 アクティブラーニング入門 Learning Methods of Active Learners	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 前期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 髙畑 貴志	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】参加型授業，アイスブレイキング，反転授業，

新しい小・中学校（2019年度告示）、および、高等学校（2020年度告示）の学習指導要領には、知識理解の質を高め資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びというキーワードでアクティブラーニングが取れられました。この授業では，いくつかのアクティブラーニングのパターンを教材化したものです。この教材を受講者がアクティブ(能動的)に学んでアクティブラーナーとなり，将来教員になって，あるいは就職した後教育係となって，子供の親となって，アクティブラーニングの実践ができるようになることを目指しています。

授業の目的

・学習者が主体的に学ぶとはどういうことかわかる。
・学習者が主体的に学ぶためにどのようなサポートが必要かわかる。

到達目標

アクティブラーニングを実施する上で，どのような準備(環境整備)が必要か説明できる。
失敗しないグループワークのために，必要なことが３つ以上言える。
学習者の参加を促すために，注意を払わなければならないこと(教員の視点)が３つ言える。
試験紙法の手順が説明できる。
PBL が効果的な授業と，試験紙法が効果的な授業のタイプ分けができる。
(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)

成績評価の方法と基準

・毎回のレポート 40%
レポートは全て提出すること。未提出のレポートがある場合には，成績評価を行いません。
・毎回のレポート追加点 10%
Goodの評価を受けている場合の加点
・章末テスト 30%
十分な予習時間をとり，間違えずに短時間で全問正解すること。誤答すると減点されます。２回受験が可能で，２回受験した場合は平均点が成績として加算されます。
・期末試験 20%
・単位修得のためには，全ての課題を終えた上で合計60点以上の点数を取得する必要があります。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

第１回 初回の授業ですべきこと
第２回 授業の最初にすべきこと
第３回 学生からのフィードバックを得る方法
第４回 失敗しないグループワークのために
第５回 勉強の仕方を教える
第６回 反転授業をやってみよう
第７回 プレゼンテーションのコツ
第８回 ICTを使う
期末試験
補助教材 オンライン授業での工夫

【授業及び学習の方法】
1～5の手順で学修を進めてください。1～4は毎回の授業に用意されています。
1.講義テキストを読み内容を理解する。
2.講義テキストの内容を、自分なりの言葉でノートにまとめる。
内容のまとまり毎に、その全体を要約する１文を作成した上で、その後に補足を補うことを求めます。
3.レポートの作成
全体を要約する１文の中から5～10程度を選び、列挙したものの提出を求めます。
レポートは提出後にチェックされます。再提出を求められる場合があります。
4.章末テスト
2回まで受験可能です。
5.期末試験
1回だけ受験が可能です。

【授業時間外学習について】
非同期型（オンデマンド）のオンライン授業のため、授業時間内・授業時間外という枠はありません。
ｅラーニングシステム moodle上のコンテンツを確認した上で、提示された活動に取り組んでもらいます。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
講義テキストはPDFとなっています。参考動画が１本ありますが、字幕が加えられています。

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　Moodle内のコミュニケーションツール（フォーラム）を利用すること。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

各章の章末テストに，標準的なスケジュール（解答期限）を設定しています。テストを受ける前にレポートを提出するため，レポート締切も同時期と考えて下さい。毎回のレポートを全て提出し，章末テストや期末試験を受験すること。未提出のレポートや未解答のテストがある場合，０点と評価します。
＊締切に遅れても，必ず毎回のレポートを提出し，章末テストを受験してください。ただし，期末試験受験期限以降の評価は行いません。
＊章末テストは２回受験可能で，２回受験した場合は平均点を成績とします。１回で高得点を得た場合，２回目を受験する必要はありません。
＊標準スケジュールで示した各回の締切後にレポートをチェックし，コメントを返します。コメントを確認してください。レポートは，サイエンスコミュニケーションの練習のために書くものです。そのための評価基準を設定していますので，「受講の仕方」をよく読んで下さい。長い長いレポートを出す人がいますが，その場合は再提出にします。

ナンバリングコード B2LAC-baxG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050216) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 キャリアで活かすITリテラシー IT literacy for your Career	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bax	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 髙畑 貴志	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】ITパスポート，ストラテジ，マネジメント，テクノロジ

ITパスポートの教科書に沿って，以下の要領でＩＴパスポートで求められる知識を順に身に付けていきます。
・まず教科書で、ITパスポートに必要とされる知識を学習してください。
・重要なポイントを説明文に起こしてみましょう。説明文のうち，具体的で重要な事柄を5～10個選んでレポートとして提出してもらいます。
・その上で，オンラインで公開されているITパスポートの過去問に取り組むことで，学習した内容を確認してください。
・期末試験をコース上で実施します。

授業の目的

社会の活動を理解する。
社会でのITの活用を理解する。

到達目標

マネジメント系の範囲から重要な事項を 10 個挙げ、簡単な説明が加えられる。
ストラテジ系の範囲から重要な事項を 10 個挙げ、簡単な説明が加えられる。
テクノロジ系の範囲から重要な事項を 15 個挙げ、簡単な説明が加えられる。
(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「課題解決のための汎用的スキル」に対応)

成績評価の方法と基準

・毎回のレポート 20%
レポートは全て提出すること。未提出のレポートがある場合には、成績評価を行いません。
・毎回のレポート追加点 10%
レポートにGoodの評価を受けている場合の加点
・確認問題 40%
各回の内容に対応した確認テスト（IPAが公開している過去問）を受験すること。6割以上の正解を各回の合格条件とします。
・期末試験 30%
ITパスポート試験と同様の形式の問題を、Moodle上で出題します。制限時間内に解いてください。
・単位修得のためには、すべての課題を終えた上、合計60点の点数を取得する必要があります。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第１回 学修の進め方
ストラテジ系 Part1
Chapter 8 企業の業務活動
Chapter 9 企業の戦略
第２回 ストラテジ系 Part2
Chapter 10 業務とITビジネス
Chapter 11 法令やルールの遵守
第３回 マネジメント系Part1
Chapter 6 システムの開発
第４回 マネジメント系Part2
Chapter 7 システムの運用管理
第５回 基礎理論・コンピュータシステム（テクノロジ系）
Chapter 1 コンピュータシステム
Chapter 2 情報処理の基礎知識
第６回 技術要素１（テクノロジ系）
Chapter 3 ITを支える各種の技術
第７回 技術要素２（テクノロジ系）
Chapter 4 ネットワーク技術
第８回 技術要素３（テクノロジ系）
Chapter 5 セキュリティ技術
第９回 期末試験

【授業及び学習の方法】
1.事前学習
レポート作成に先立って，テキストの内容を学習してください。
2.レポート作成
学習した内容から，以下のようなレポートを作成してください。
【レポートの書き方】
・テーマごとに説明文をノートに書いてみましょう。 ノートに書いた中の指定した範囲から，5～10個を選んでレポートとして提出してもらいます。
・説明文は，テキストからの書き写しではなく，そのテーマの内容をよく表すように工夫して，１文でまとめること。内容が不十分と教員が判断した場合，内容に間違いがある場合、文法的な間違いがある場合は再提出を求めます。
・提出されたレポートにはコメントを返すので，コメントを見て参考とすること。 問題ない場合には「OK」，よく書かれている場合には「Good」とだけ返します。 再提出が必要な場合には「再提出」という言葉にその理由を付けて返します。
3.確認テスト
レポート提出後に、各回の内容に対応した確認テスト（IPAが公開している過去問）を受験してもらいます。テストの成績が分かる資料の提出を求めます。

【授業時間外学習について】
この授業は、非同期型のオンライン授業です。授業構成のうち2,3が、授業時間外学習に相当します。
1.事前学習
2.レポート作成
3.確認テスト

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
コンテンツは全てテキスト形式です。

教科書・参考書等

教科書1　書名　令和04年 ITパスポートの 新よくわかる教科書
ＩＳＢＮ　978-4-29712-379-6　著者名　原山 麻美子
出版社　技術評論社　出版年　2021
金額　1280円（税抜き）
備考　令和05年版が発売されていれば、そちらを用いてもよい。

オフィスアワー　　ｅラーニングシステム Moodle 上の専用掲示板（フォーラム）を使います。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業では、以下の1～3を、受講生の皆さんに求めます。
1.パソコン環境
IPAが公開している、ITパスポートのCBT疑似体験ソフトウェア（過去問）を利用できるパソコン環境が必要です。Windows 8.1 または Windows 10 を搭載したパソコンで利用できます。
(URL) https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html　(2021年11月現在)
2.自律力
授業時間という強制的な仕組みがないため，主体的に取り組む姿勢や、自分で計画を立てて持続できる自律力が重要になります。
3.やり抜く力GRIT
ITパスポートで学ぶべき知識は多岐に渡ります。１回で全てを理解するのは難しいと思いますが，挫けずに何度も過去問を解くことで，理解が深まっていきます。

ナンバリングコード B2LAC-aexG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050217) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 業務効率化のためのIT活用入門 Practical Use of Excel and Scripts for Business efficiency	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：aex	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 髙畑 貴志	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】業務効率化，Excel，スクリプト処理，バッチ処理

日々の業務における「ひとつふたつであれば簡単に終わる単純な処理」が大量かつ頻繁に発生する状況を想定し、IT技術を用いた半自動化により業務を効率よく処理する技法を身に付けます。このような処理の具体的な例を挙げます（授業で学べば、短い時間でできるようになります）。
・複数の名簿リストを統合し，重複をなくして整える。
・多肢選択単一回答式のアンケートを，問題数に関係なく一定の時間で集計する。
・複数のグラフに，同一の複雑な書式を，各グラフにつき一手間で適用する。
・名簿から，特定の条件に該当する人だけをピックアップして，メールを一斉に送る。
・対応表をもとに，複数のファイルの名前を一括して変更する。
・表形式のデータから，特定の条件に該当するものを抽出する。
・表形式のデータを，属性の値ごとに集計する。
手軽に活用できるよう、Microsoft Excel を中心に「プログラミング」まで踏み込まない範囲の技法を扱います。
また、大学が所在する地域に関する統計データを扱うことで、地元の地域に対する理解を深めます。

授業の目的

1.日々の業務で発生する「ひとつふたつであれば簡単に終わる単純な処理」を、IT技術を用いた半自動化により効率よく処理する技法を身に付ける。
2.大学の所在地や日本に関する統計情報を，表計算ソフトを用いて処理できるようになる。

到達目標

１．Excel が大量の業務を効率よく処理する原理を理解できる。
２．Excel に用意された大規模データ集計に向くツールを５つ挙げ、その機能を説明できる。
３．スクリプトによるバッチ処理を説明でき、自分の PC で実行できる。
４．web 上で公開されている統計データを探し、Excel に取り込める。
５．１～４を統合して、自分の目的に応用できる。
(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」「地域に関する関心と理解力」に対応)

成績評価の方法と基準

・確認テスト35%
・期末試験40%
・総合演習で作成した課題18%
・総合演習で他の受講生が作成した課題にコメントすること7%

単位の修得には60点以上の成績が必要です。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
１．イントロダクション・Excelの基本1
２．Excelの基本2
３．置換・並べ替え・条件判断の活用
４．アンケートの集計
５．文字列の処理・スクリプト処理
６．統計データの利用・フィルタ機能の活用
７．ピボットテーブルの利用
８．総合演習

【授業の進め方】
1. moodle上の資料を読み知識を身に付ける。
2. 身に付けた知識を確認するために用意された問題を解く。
3. 資料で学んだ知識と確認用の問題に関する確認用の小テストを受ける。
4. 最終課題では、自分の興味に応じて学んだ知識の応用に挑戦する。
5. 身に付けた知識の最終確認のため、期末試験を受ける（２回まで受験可、平均点で評価）

Moodleコース内には、参加者同士が情報交換できる掲示板を設けます。

【授業時間外学習について】
講義受講型ではないため、授業時間内・授業時間外という枠はありません。
ｅラーニングシステム moodle上のコンテンツを確認した上で、提示された活動に取り組んでもらいます。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
コンテンツは全てテキスト形式（PDFとExcel）です。

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　eラーニングシステム(LMS: Learning Management System)上の専用掲示板(フォーラム)でいつでも受け付けています。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業では、受講生の皆さんに1～4を求めます。
1.基本的なパソコン操作
・フルｅラーニング科目です。インターネットを介し学習コンテンツにアクセスし，パソコンで作業を行う必要があるため，パソコン操作は必須です。
2.パソコンの環境
・インターネットに接続可能で，Microsoft Excelが使用可能なパソコンを利用できる環境が必要です。パソコンのOSは，Windows（8.1以降）を想定しています。
・自分が所有するパソコンでなくても結構です。（パソコン実習室などの利用でもよい）
・Microsoft Excel のバージョンは，2013以降を想定しています（余程古いパソコンでなければ大丈夫でしょう）。
・macOS ＋ Excel for Mac でも，ほとんどの部分は対応可能ですが、一部の項目には Windows パソコンが必要となります。
3.自律力
・授業時間という強制的な仕組みがないため，主体的に取り組む姿勢や、自分で計画を立てて持続できる自律力が重要になります。
4.質問できる積極性
・PCの操作が大きな比重を占めます。eラーニング上の資料だけでは十分に理解できないことやうまくいかないことに遭遇する可能性が少なからずあります。分からないことを分からないままにするのでなく、質問により解決する姿勢が重要です。そのような姿勢は、社会でも役立つことでしょう。（社会では「質問がない＝理解した。できる。」と見なされます。）

ナンバリングコード B2LAC-ebxG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050218） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目NPOと大学の経営 Management of NPO(Non-Profit Organization) and the University	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：ebx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 岩崎 保道	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】NPO（Not-for-Profit Organization）、大学、非営利法人、公益、経営

当授業は、NPO（非営利組織）の社会的役割及び存在意義を学ぶとともに、学校法人、医療法人、社会福祉法人、NPO法人など各分野の概要や取り巻く経営環境、特徴について四国の状況を含めて解説します。また、NPOの一つである大学の基本的機能（教育研究、社会貢献）及び社会的使命を学ぶとともに、大学がどのような仕組みのもとで事業を展開しているのか明らかにして大学の事業活動を支える、経営管理や組織、財務などの業務内容を解説します。
以上を趣旨として、各テーマ（「NPO（非営利組織）の社会的役割」「NPO（非営利組織）の各分野における経営環境や社会的役割、特徴」「フィランソロピーとソーシャルアントレプレナー」「大学の基本的機能」「大学と地域の連携」「人的資源の能力開発」「大学発ベンチャー」など）を取り上げます。
授業方法は動画の視聴を基本として、教科書を使用しながら説明します。

授業の目的

・NPO（非営利組織）の社会的役割や公益性を学ぶとともに、社会的ニーズへの対応状況や存在意義について理解を深める
・NPO（非営利組織）の各分野（学校法人、医療法人、社会福祉法人、NPO法人など）を取り巻く経営環境や特徴を把握する
・大学の基本的機能（教育研究、社会貢献）及び社会的使命を学ぶとともに、大学を取り巻く厳しい経営環境について理解を深める
・大学の事業活動を支える経営管理や組織、財務などの業務内容を把握する

到達目標

（１）NPO（非営利組織）の社会的役割や公益性とともに、その存在意義が理解できるようになる
（２）NPO（非営利組織）における各分野を取り巻く経営環境や特徴が説明できるようになる
（３）大学の基本的機能や社会的使命とともに、その存在意義が理解できるようになる
（４）大学の機能を支える経営管理や組織、財務などの管理体制の概要が説明できるようになる
(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

評価基準：下記の小レポート及びレポート試験が達成目標に達しているか総合的に判断します。
評価方法：授業に対する積極性や小レポート（50点）、レポート試験（50点）とします。詳細は別途、示します。単位取得条件として、合計60点以上を取得する必要があります。なお、モジュール内の学修が出席に相当します。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

１　NPOの社会的役割（Ⅰ―１）
NPOの定義や社会的役割、分野や社会的ニーズの観点からみた存在意義
２　医療法人の経営環境（Ⅰ―２）
医療法人の社会的役割や経営環境、特徴
３　社会福祉法人の経営環境（Ⅰ―３）
社会福祉法人の社会的役割や経営環境、特徴
４　NPO法人の経営環境（Ⅰ―４）
NPO法人の社会的役割や経営環境、特徴
５　宗教法人の経営環境（Ⅰ―５）
宗教法人社会的役割や経営環境、特徴
６　社団法人及び財団法人の経営環境（Ⅰ―６）
財団法人と社団法人の社会的役割や経営環境、特徴
７　フィランソロピーとソーシャルアントレプレナー（Ⅰ―７）
フィランソロピー及びソーシャルアントレプレナーの社会的役割や特徴
８　大学の基本的機能と経営（Ⅱ―１）
大学の基本的機能（教育・研究・社会貢献）と、それを支える経営組織
９　大学におけるＩＲ（Institutional Research）の活用（Ⅱ―２）
大学におけるＩＲの定義や活用方法、期待される効果
10　大学の広報戦略（Ⅱ―３）

大学広報の目的や期待される効果、広報戦略の在り方
11　大学提携による機能強化（Ⅱ―４）
組織提携の目的や効果と事例（大学コンソーシアムなど）
12　大学の地域連携による社会的役割（Ⅱ―５）
大学が地域連携を行う目的や社会的役割、効果
13　大学発ベンチャーの展開（Ⅱ―６）
大学発ベンチャーの展開や社会的効果
14　大学教職員の人材育成（Ⅱ―７）
大学における教職員の人材育成の目的や能力開発（FD及びSD）の必要性
15　大学の財政（Ⅱ―８）
会計の基本的役割と大学財政の特徴

【授業時間外学習について】
各回の授業の動画を視聴して、「小レポート（または、理解できたこと）」を提出してください。なお、授業に対する質問があれば受け付けます。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

【教科書1】
書名　『非営利法人経営論』
ＩＳＢＮ　978-4-86429-285-6　著者名　岩崎保道編
出版社　大学教育出版　出版年　2014年
金額　本体1,800円 + 税
備考　㈱大学教育出版または各種オンラインショップのサイトで購入可

【教科書２】
書名　『大学の戦略的経営手法』
ＩＳＢＮ　978-4-86429-358-7　著者名　岩崎保道編
出版社　大学教育出版　出版年　2016年
金額　本体1,800円 + 税
備考　㈱大学教育出版または各種オンラインショップのサイトで購入可

オフィスアワー　　電子メール（yiwasaki@kochi-u.ac.jp）にて連絡してください

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

（１）　担当教員からのメッセージ
NPO（非営利組織）が関わる分野は、教育、保健医療、福祉、社会的支援などの公益性を含む事業であり多岐にわたります。NPOが社会に果たしてきた役割は大きく、社会を支える機能を担っています。履修生の皆さんもNPOに関わる機会があると思います。また近年、大学に対する社会的要望や期待が高まってきました。大学には、我が国の科学技術の発展や社会的変革への原動力として、教育研究を通じて展開していく使命があります。学生の皆さんが学ぶ大学の基本的な機能（教育研究、社会貢献）や社会的な役割を学ぶことは大切なことです。
このようにNPO及び大学は、多様な活動を行っていますが、ご存じない事柄があるかもしれません。その意味において、この授業を通じて、NPO及び大学に関わる新たな知見や学びを得ることができると思います。NPO及び大学の活動に関心を持つ学生で、その社会的役割や経営環境について学びたい方の受講を望みます。なお、当授業は専門知識を持たない方にも分かりやすく説明します。

（２）履修希望学生に求めるもの
本授業では、NPO（非営利組織）の社会的役割や具体的な活動内容について学ぶため、NPOに関わる基礎的な知識や近年の動向について、教科書などの資料を予習して把握しておくことが望ましいです。また、大学の基本的な機能（教育研究、社会貢献）や大学政策について学ぶため、大学に関わる基礎的な知識や近年の動向について、教科書などの資料を予習して把握しておくことが望ましいです。

（３）その他
「１０　大学の広報戦略（Ⅱ―３）」及び「14 大学職員の人材育成（Ⅱ―７）」についてはゲストスピーカーが担当します（「４０．その他／備考」を参照）。

教員の実務経験との関連

「実務経験のある教員による授業科目」
・実務家教員　岩崎保道　／　高知大学ＩＲ・評価機構の教員として、ＩＲ（Institutional Research）業

務を担っている。この業務で得た知識や経験をもとに、ＩＲに関わる授業（９　大学におけるＩＲ（Institutional Research）の活用（Ⅱ―２））を行う。また、学校法人事務局の経理課職員を務めていた。この業務で得た知識や経験をもとに、財務に関わる授業（15　大学の財政（Ⅱ―８））を行う。
・実務家教員　谷ノ内識　／　学校法人追手門学院の広報課長として幼稚園から大学・大学院までの広報業務の責任者を務めており、過去にはNHK記者として広報と関係する報道の経験もある。この業務で得た知識や実践経験をもとに、広報に関わる授業（10　大学の広報戦略（Ⅱ―３））を行う。
・実務家教員　中元崇　／　大学コンソーシアム京都の勤務経験として、FD/SDを担当する事業部に所属していた。この経験を踏まえてFD/SDに関する授業（14 大学職員の人材育成（Ⅱ―７））を行う。

ナンバリングコード B2LAC-axxG-10-Le2 **授業科目名** （時間割コード：050219） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　ピア・サポート理論と実践 Peer support theory and practice	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 2	
担当教員名 杉田　郁代	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×15回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】ピア・サポート理論、人間関係トレーニング、ストレスに関わる基礎理論、アンガ―マネジメント

人を支えるピア・サポート理論とその活動を実際に行うためのプロジェクトマネジメントについて学びます。ピア・サポート理論は、教育心理学や臨床心理学、健康心理学等の知見を複合しています。その基礎知識を獲得するとともに、ピア・サポート活動に必要なコミュニケーショントレーニングについても授業の中の体験を通して学びを深めていきます。授業の中では、学生の皆さんの発言や行動が、学ぶ仲間（ピア）を助ける道具になります。よって、授業への積極的な参加を望みます。最終的には、大学生活において、ピア・サポート活動を実践できるように授業を設計しています。

授業の目的

人を支える活動（ピア・サポート）に関わる理論的な知識の獲得とそれらの知識を体験的に学び学習を深めていきます。

到達目標

■生活の中でできる他者に対するサポートについて考えることができる
■他者とのコミュニケーションに関わる基礎知識を身に付け、考えることができる
(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応)

成績評価の方法と基準

授業中に課せられる課題：６０点、ミニレポート（１回）：２０点、個人プレゼンテーション(１回）：２０点で成績評価し、合計６０点以上の点数を習得する必要がある。授業回の学修活動が出席に相当する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

＊授業内容は、変更になる可能性があります。
1. ガイダンス（授業内容の概要説明を含む）
2. ピア・サポートの基礎知識の獲得
3. 大学教育におけるピア・サポートについて
4. ピア・サポート関連知識、コミュニケーションに関わる基礎知識について
5. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験（１）「聞くことと聴くこと」
6. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験（２）「自己理解と他者理解
7. コミュニケーションから生じるストレス
8. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験（３）「思い込みについて考える」
9. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得と体験（４）「怒りとストレスについて考える
10. コミュニケーションに関わる基礎知識の獲得（1）～（４）の統合
11. サポートに関わる基礎知識の獲得「サポートの限界について考える」
12. 自分ができそうなサポート体験について考える
13. 意見共有から学ぶ
14. ティーチングに関わる基礎知識の獲得
15. 日常生活の中のサポートについて考え,学びの実践から振り返る

【授業時間外学習について】
授業外学習については、Moodle上に課題を提示しますので、確認をお願いします。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　Zoom等のweb対応できる場合のみ

事前にメール（isugita@kochi-u.ac.jp）で連絡をお願いいたします。
授業公開毎に、オフィスアワー動画を設定しています。授業回ごとに提出する課題の中に、授業に関わる疑問・質問などわからないことについて、記述してください。動画では、いただいた記述をフィードバックします。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

学内外で、子ども達や地域の人と関わる学生、教職や社会福祉関連の仕事を目指している学生に受講を勧めます。いま、小中高等学校の現場においては、児童生徒の間のピア・サポート活動も盛んに行われています。また、大学教育においても導入が進んでいます。その大学教育における活動についても授業で取り上げていきます。
人に関わるということは、コミュニケーションの基礎知識だけでなく、自分自身のことを理解しておくことと人をサポートするための知識が必要になります。誰かの役に立ちたい！何か新しいことを、人を巻き込んで始めたいという人は、ぜひ受講を勧めます。

教員の実務経験との関連

学校現場の実務経験を持つ教員が、組織開発等において求められる人を助ける力であるピア・サポートの力全般を身に付けるための授業を行う。

ナンバリングコード B2LAC-dxxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050220） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　キャリアプランニング Career Planning	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：dxx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 森田　佐知子	**関連授業科目** 知プラe科目　インターンシップ入門 **履修推奨科目** 知プラe科目　インターンシップ入門		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】キャリアプランニング，自己分析，就職活動

本授業は，キャリアプランニングの基礎知識を集約的に学ぶものである。講義では，キャリアプランニングの基礎となる理論と合わせて，自己分析や，進路に関する選択肢の増やし方，職業研究の方法等を説明する。また，キャリア形成に関する自分の意見や自己分析・業界研究の結果，キャリアビジョンなどを受講生同士で共有し，フィードバックを得る機会を随時提供することで，多様な視点からキャリアプランを見直す力を醸成することを目指す。

授業の目的

キャリアプランニングを行う上で必要な基礎知識を身につけ，自らのキャリアについて省察し，将来の行動に繋げる契機とする。

到達目標

１．キャリアプランニングにおいて必要な基礎知識と自己分析の手法を理解し身につける。
２．業界や企業，職業に関する知識の広げ方を理解する。
３．多様な視点から自分のキャリアプランを見直す力を身につける。
(共通教育スタンダードの「市民としての責任感と倫理観」に対応)

成績評価の方法と基準

・小レポート等の合計が60%，定期試験レポート40%の配点で評価する。
・単位修得のためには，合計60点以上を取得する必要がある。
・モジュール内の学修が出席に相当する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

１．オリエンテーション（授業の流れの説明，授業における目標設定）
２．キャリアプランニングの基礎理論
３．自分を知るⅠ（社会で求められる力と自分の強みを知る）
４．自分を知るⅡ（適職診断と志望業界・志望職種の広げ方を知る）
５．自分のことを他者に伝えるトレーニング（エントリーシートを書いてみよう）
６．働き方を考える（ワークライフバランスの本質とは？）
７．インターンシップと就職活動
８．授業のまとめ（これからの時代のキャリアプランニング），アンケート，定期試験（レポート）

【授業時間外学習について】
授業終了後，授業を受けての自分なりのまとめや考察を行うこと。また，毎回，小レポート等が課されるので，それを提出すること。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画に字幕あり，動画の音声を文字起こししたテキスト資料（PDF）あり

教科書・参考書等

主にスライドを用いて授業を進めます。
必要な書籍や参考図書がある場合は授業の中で説明します。

オフィスアワー　電子メール（s.morita@kochi-u.ac.jp）を活用ください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本授業はキャリアプランニングの基礎を学ぶものです。自分の将来をどう設計したらよいか分からない人，自分を知りたい人，将来の選択肢の増やし方を知りたい人，キャリアや就職活動に興味がある人，就職に向

けて早めに準備をしたい人はぜひ受講してください。 本科目はe-learningで行われますが，moodleのフォーラム機能などを活用し，受講生同士の交流を取り入れます。多様な受講生との交流を通じて多様なキャリアに対する考えを学んでください。 （授業の内容は，講師の都合や受講生の理解度などにより変更する可能性があります。）
教員の実務経験との関連
この授業は実務経験のある教員による授業科目である。民間企業の人事部門で採用戦略立案や面接官を担当していた教員が，その経験を活かして，社会人として求められる力や就職活動，キャリア形成のために必要な知識等について講義を行う。

ナンバリングコード B2LAC-ebxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050221） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　徳島を考える　Geography and Culture of Tokushima	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：ebx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 豊田　哲也	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】徳島県、自然、歴史、伝統、産業

徳島県の自然環境や歴史、文化、産業に関するテーマを様々な側面から取り上げて講義する。具体的には、吉野川の地形環境、藍産業の歴史、特産地の形成などの一端を紹介する。

授業の目的

わたしたちはグローバルな時代にありながらも同時にローカルな社会に生きている．インターネットがいかに発達したとしても，自宅を建てたり（居住），学校で学んだり（教育），職業に就いたり（労働），病院に行ったり（医療），わたしたちの生活の基盤が地域の社会や経済の上に成り立っていることは変わりない事実である．東日本大震災の経験は，わたしたち一人一人の運命もまた地域の環境や共同体と不可分であることを教えてくれた．わたしたちがよりよい未来を望むならば，身のまわりの地域がどのような特性を持っているのか，いかなる課題に直面しているのかを理解し，持続可能な地域づくりを進めていかなければならない．もちろん，一言で地域的課題と言ってもその内容はさまざまである．大都市地域では人口集中や産業空洞化が叫ばれる一方，「地方」では過疎や人口高齢化などが深刻化し，伝統文化も大きく変容してきている．こうした地域差には，それぞれの地域における地理的・歴史的・文化的な背景の違いが反映されている．この講義では身近な地元である徳島県を取り上げ，さまざまな視点から地域の特性を明らかにし，取り組むべき地域的課題について考察する．

到達目標

他県の人に対して、以下の項目を説明できる。
1. 徳島県の自然や歴史と伝統文化
2. 徳島県の産業や経済の特色
（共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）

成績評価の方法と基準

7回の小テストを計50点満点、期末レポートを50点満点で評価し、合計60点以上を合格とする。なお、小テストの受験（提出）回数が5回未満の場合は、期末レポートの提出資格を与えない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
※授業内容は変更になる可能性があります。
1.吉野川の地形環境
2.吉野川の治水と利水
3.阿波藍の歴史と伝統
4.徳島市の都市発展
5.モラエスがくらした徳島
6.すだちの特産地形成
7.明石海峡大橋の経済効果
8.総括

【授業時間外学習について】
e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー　電子メール（toyoda.tetsuya@tokushima-u.ac.jp）を利用してください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS（Learning Management System）にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回（ガイダンス）を参照されたい。

ナンバリングコード B2LAC-dxxG-10-Le1 **授業科目名** （時間割コード：050222） 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目　インターンシップ入門 Introduction to Internships	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 前期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教センター **DPコード**：dxx	**対象学生** 全学生 **特定プログラムとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 森田　佐知子	**関連授業科目** 知プラe科目　キャリアプランニング		
	履修推奨科目 知プラe科目　キャリアプランニング		

学習時間　授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】インターンシップ、キャリアプランニング，就職活動

本授業は、インターンシップに関する基礎知識を集約的に学ぶものである。講義では、インターンシップの種類やインターンシップに行く意義と合わせて、実習先の探し方や応募方法などの実践的なことも学ぶ。またインターンシップを活用してより深くその業界や仕事のことを学ぶための理論や、インターンシップにおける経験を自らのキャリア形成に活かすための方法についても学ぶ。各講義では、各人の考えや意見を受講生同士で共有し，フィードバックを得る機会を随時提供することで，多様な視点からインターンシップと将来のキャリアについて考察する力を醸成することを目指す。

授業の目的

インターンシップに関する基礎知識を身につけ，自らのキャリアについて省察し，将来の行動に繋げる契機とする。

到達目標

１．インターンシップに関する基礎知識を身につける。
２．インターンシップの実習先の探し方と応募方法に関する知識を習得し、自分の目的に合った実習先を探して応募できるようになる。
３．インターンシップを活用して、その業界の仕事内容を深く理解するとともに、自らのキャリア形成に活かせるようになる。
(共通教育スタンダードの「市民としての責任感と倫理観」に対応)

成績評価の方法と基準

・小レポート等の合計が60%，定期試験レポート40%の配点で評価する。
・単位修得のためには，合計60点以上を取得する必要がある。
・モジュール内の学修が出席に相当する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

１．オリエンテーション（授業の流れの説明，授業における目標設定）
２．インターンシップに行く意義とその種類
３．インターンシップから効率的に学ぶための理論
４．マナーとコミュニケーション
５．実習先の探し方
６．オンラインによるインターンシップフェア経験
７．選考とエントリーシートの書き方
８．インターンシップに参加するための行動計画作成と授業のまとめ、アンケート、定期試験（レポート）

【授業時間外学習について】
授業終了後，授業を受けての自分なりのまとめや考察を行うこと。また，毎回，小レポート等が課されるので，それを提出すること。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
動画の音声を文字起こししたテキスト資料（PDF）あり

教科書・参考書等

主にスライドを用いて授業を進めます。
必要な書籍や参考図書がある場合は授業の中で説明します。

オフィスアワー　電子メール（s.morita@kochi-u.ac.jp）を活用ください。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
本授業はインターンシップの基礎を学ぶものです。インターンシップという言葉を聞いたことはあるが詳しくはまだわからない、インターンシップに参加してみたいが実習先をどのように選べばよいかわからない、インターンシップに参加する予定だがより深く学ぶためにはどうしたらよいか知りたい、といった人はぜひ受講してください。 本科目はe-learningで行われますが，moodleのフォーラム機能などを活用し，受講生同士の交流を取り入れます。多様な受講生との交流を通じて多様な考えを学んでください。 （授業の内容は，講師の都合や受講生の理解度などにより変更する可能性があります。）
教員の実務経験との関連
この授業は実務経験のある教員による授業科目である。民間企業の人事部門で採用戦略立案や面接官を担当していた教員が、その経験を活かして、インターンシップを中心とした、社会人として求められる力や就職活動、キャリア形成のために必要な知識等について講義を行う。

ナンバリングコード B2LAC-cdxG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050223) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 消費生活入門 Introduction to Consumption Life	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割 2022年度** 後期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：cdx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 小島 郷子	**関連授業科目** 特になし		
	履修推奨科目 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】消費者，消費生活，SDGs
新しい経済社会の消費者像や消費者としての役割を理解するとともに、消費者としてSDGsの目標を達成し、持続可能な社会を形成するためにできることについて考える。

授業の目的

新しい経済社会に必要な消費者像について理解する。
消費者一人一人が果たす役割を理解する。
地球環境の視点から、持続可能な社会に向けた消費、消費行動のあり方について考える。

到達目標

新しい経済社会の消費者像・役割を理解している
持続可能な社会に向けた消費、消費行動のあり方について考えることができる
SDGs の 17 の目標を達成するために自分ができることがわかる
(共通教育スタンダードの「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」「市民としての責任感と倫理観」に対応)

成績評価の方法と基準

毎回の課題 50%
最終課題「SDGsの目標達成のために自分ができること」 50%
なお、各回の学修活動が出席に相当します。
単位修得のためには、合計６０点以上を取得する必要があります。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

授業計画
※授業内容は変更になる可能性があります。
１ イントロダクション・大衆消費社会と消費者問題
２ 消費者問題の変遷
３ 消費者の権利と責任
４ SDGsとエシカル消費
５ 契約について
６ 保証契約について
７ キャッシュレス社会における消費
８ SDGsの目標達成のために自分ができること

【授業時間外学習について】
講義受講型ではないため、授業時間内・授業時間外という枠はありません。
ｅラーニングシステム moodle上のコンテンツを確認した上で、提示された活動に取り組んでもらいます。

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

【バリアフリー対応について】
一部動画の音声を文字起こししたテキスト資料（PDF）あり

教科書・参考書等

特になし

オフィスアワー 問い合わせは下記の電子メールでお願いします
kkojima@kochi-u.ac.jp

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業時間という強制的な仕組みがないため、主体的に取り組む姿勢や、自分で計画を立てて持続できる自立力が重要になります。

ナンバリングコード B2LAC-bcxG-10-Le1 **授業科目名** (時間割コード：050224) 広範教養教育科目 Liberal arts course(comprehensive) 知プラe科目 社会科学における確率・統計入門 Introduction to Probability and Statistics on Social Science	**科目区分** 広範教養教育科目	**時間割** 2022年度 前期集中	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 広範教養教育科目	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：bcx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** 対応なし
	授業形態 講義 e ラーニング	**単位数** 1	
担当教員名 福井 昌則	**関連授業科目** 特になし **履修推奨科目** 特になし		

学習時間 授業（e-Learning）90分×8回＋自学自習

授業の概要

【キーワード】社会科学，データの整理，記述統計，推測統計，統計的仮説検定

社会科学を学ぶ際，社会科学の考え方を知るだけではなく，どのように「科学的」に分析・評価するかを知ることが重要である．その方法として統計的手法について知識を身につけること，その基本的な分析ができることは，社会科学の学習，研究において非常に重要であり，他の学術分野においても必須となる．
本授業では，①社会科学についての概要，②社会科学研究の基礎，③統計の重要性についての理解，④いくつかの統計的手法の利活用，の4点を念頭に置いて進める．全体を通して，文系学部に在籍する社会科学系の学生にも理解できる事例を用いる．
本授業は，全回オンデマンドで実施する．よって，R等の統計ソフトウェアを自身で準備し，そのソフトウェアで様々な検定を行うための操作方法を予習しておくことなどといった自学自習，授業時間外学習が重要となる．統計ソフトウェアについては個人の判断に委ねるが，授業ではRを用いる．

授業の目的

社会科学は我々人間社会の様々な事象，出来事を「科学的」に分析・検討する分野である．社会科学を学び・研究するためには，科学的に検討することが求められ，その礎となるエビデンス，すなわち統計に関する基礎的理解，取り扱い方を知ることが求められる．そこで本講義では，社会科学におけるエビデンスの重要性，確率・統計の基礎的事項に触れながら，社会科学研究を行う上での基礎的な考え方を身につけることを目的とする．

到達目標

1.社会科学についての概要を自身の言葉で説明することができる．
2.社会科学研究の簡単な設計を行うことができる．
3.社会科学におけるエビデンス，統計の重要性について説明することができる．
4.統計ソフトウェアを用いて，与えられたデータの整理，分析ができる．
5.目的を実現するために，どのようなデータ，および仮説検定が必要かについて説明することができる．
（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」「21 世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応）

成績評価の方法と基準

1.各授業回の提出課題(小課題)：各回の小課題(最大10点)×7回=最大70点
2.レポート課題(最終課題)：最大30点
＊1,2の合計点で評価します(上限は100点．60点以上が必要)．
単にビデオを視聴するだけではなく，各回の小課題を提出してください．
小課題には締め切りが設定されています．提出期限を自身で確認の上，期限内に提出してください．
小課題が5回以上未提出の場合，成績判定の対象として扱いません．

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

1.授業ガイダンス：授業の進め方，成績評価の方法，導入授業「社会科学とはなにか」
2.社会科学・自然科学・人文科学の相違点，社会科学研究の設計エビデンスとはなにか
確率・統計の有用性，量的研究と質的研究，混合研究
3.確率の復習，統計入門(1)：順列と組み合わせ，条件付き確率，代表値(平均，標準偏差，分散など)，Rのインストール，Rの基本的な操作方法
4.統計入門(2)：尺度（名義，順序，間隔，比例)，様々な分布（正規分布，ｔ分布など）
5.統計入門(3)：統計的仮説検定とはなにか，p値とはなにか
6.統計入門(4)：χ2検定
7.統計入門(5)：t検定，対応のあるデータ，対応のないデータ
8.実践：様々な分析についての紹介，これまでの知識を用いることで，どのような社会現象を分析できるのか？について考える
1,2,3回目の授業は，授業内で用いる資料をあらかじめ配布するので，それを参考に学習を行ってください．
3-8回目の授業課題は，実際に統計ソフトを用いて計算する必要があります．皆さんが用いる統計ソフトについては問いませんが，授業ではRを用います．小課題には計算結果だけではなく，何のソフトを使ったかについても記述してください．8回目の授業内容を踏まえ，最終課題を作成してください．
＊3回目の授業でRの導入について解説を行います．

【授業時間外学習について】
授業の内容を復習できる練習問題および課題を解き，知識の定着をはかってください.
(課題については提出が必要です.)

【e-Learning科目の履修登録に際して】
本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム（ドリームキャンパス）の履修登録とは別にe-Learningシステム（Moodle）の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している香川大学学生向け履修案内をよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。
URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/

教科書・参考書等

参考書1　書名　文系のための統計学入門 ーデータサイエンスの基礎
ＩＳＢＮ　4-5355-5998-8　著者名　河口洋行
出版社　日本評論社　出版年　2021
金額　3,080-

参考書2　書名　Rで学ぶ統計学入門
ＩＳＢＮ　4-8079-0859-6　著者名　嶋田 正和，阿部 真人
出版社　東京化学同人　出版年　2017
金額　2,970-

参考書3　書名　統計学図鑑
ＩＳＢＮ　4-2742-2080-X　著者名　栗原伸一 他
出版社　オーム社　出版年　2017
金額　2,750-

オフィスアワー　　問い合わせは、下記の電子メールにてお願いします
f-masanori@tokushima-u.ac.jp

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない. また，受講制限をかけるので，大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで，期限内に手続を済ませること. 期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しないので注意すること.

【メッセージ】
社会科学に対する基礎的なイメージを作ること，そして統計の有用性を知ることは，今後の社会を生きていくために役立ちます. 授業という限られた時間の中で得た知識を，皆さんの専門分野などで生かしていただくことを期待します. 授業科目名に「社会科学」とありますが，理系の学生にも有用な内容ですので，学部問わず参加されることを期待します.

教員にソフトウェアについて質問される場合は，必ずソフトウェア名，バージョン，具体的な問題点を記載してください. 全てのソフトウェアに対応はできません(RおよびExcelには対応)